

桐生繊維業界の実態

平成8年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

1. 調査対象団体数	20団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2. 産地収入	（昨年比較）
(1) 生産高	429億4,075万円（93%）
(2) 加工収入高	85億5,903万円（82%）
(3) 販売高	163億3,500万円（96%）
合計	678億3,478万円（92%）
3. 総組合員数	771事務所
4. 総従業員数（家族従業員含む）	5,692人
5. 一事業所当り従業員数	7.4人
6. 一事業所当り生産販売加工高	8,798万円
7. その他参考	

54年産地収入	1,078億 1,166万円（100）
55年	1,170億 6,380万円（109）
56年	1,110億 8,757万円（103）
57年	1,083億 3,093万円（101）
58年	1,023億 634万円（95）
59年	976億 1,960万円（91）
60年	917億 1,760万円（85）
61年	853億 4,182万円（79）
62年	804億 5,848万円（75）
63年	783億 8,548万円（73）
元年	841億 7,076万円（78）
2年	931億 1,687万円（86）
3年	908億 7,740万円（84）
4年	1,001億 1,232万円（93）
5年	893億 2,611万円（83）
6年	845億 3,438万円（78）
7年	733億 6,672万円（68）

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組 合 員 数 事 業 所	従 業 員 数				従 業 員 平 均 年 齢	
			従 業 員		家 族 従 業 員			計
			男 人	女 人	男 人	女 人		
桐生織物(協)	広幅協議会	206	235	233	184	369	1,021	53
	内地協議会	156	335	540	165	154	1,194	53
桐生織物商業組合		7	24	19	0	0	43	44
桐生織物産地元売(協)		12	15	4	0	5	24	-
両毛輸出織物整染(工)		26	418	167	38	21	644	50
桐生染色(協)		31	198	32	14	18	262	48
桐生繊維製品(協)		63	280	803	23	30	1,136	37
桐生糸商組合		17	38	22	18	12	90	45
東日本編レース(工)		19	62	39	26	24	151	48
桐生撚糸(工)		26	5	27	30	28	90	59
両毛輸出スカーフ組合		5	2	2	5	5	14	-
桐生織物整経(協)		44	1	7	42	37	87	64
桐生意匠(協)		20	8	5	2	12	27	50
桐生紋紙(協)		19	16	2	27	20	65	-
東毛ジャカード刺繍(協)		11	20	31	14	21	86	44
桐生刺繍商工業(協)		67	152	243	102	98	595	46
桐生金銀糸(協)		13	32	15	0	4	51	47
桐生織物買継商友会		21	4	4	25	19	52	53
(協)シルク・ルネッサンス桐生		(14	0	0	0	0	0	-)
桐生テキスタイル商業グループ		8	30	30	0	0	60	41
桐生織伝統工芸士会		(55	0	0	0	0	0	-)
計		771	1,875	2,225	715	877	5,692	-

注 (1) 平成7年1月13日群馬県綿スフ織物(工)解散し退会。

(2) 平成7年5月17日桐生織伝統工芸士会が入会。

(3) (協)シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。

2. 生産,加工高及び受注(出荷)先区分(工業部門)

単位 万円

所属団体	生産高	加工高	計	昨 年 比 較	取引先区分	
					県内	県外
桐生織物(協)	広幅協議会	916,520	916,520	% 86	% 0	% 100
	内地協議会	583,730	583,730	92	0	100
両毛輸出織物整染(㊦)		328,088	328,088	85	38	62
桐生染色(協)		171,054	171,054	96	58	42
桐生繊維製品(協)	1,720,050	74,000	1,794,050	100	0	100
東日本編レース(㊦)	460,000		460,000	94	56	44
桐生撚糸(㊦)		17,175	17,175	96	90	10
桐生織物整経(協)		15,196	15,196	60	85	15
桐生意匠(協)	24,997		24,997	103	73	27
桐生紋紙(協)	24,136		24,136	90	85	15
東毛ジャカード刺繍(協)	62,122		62,122	90	2	98
桐生刺繍商工業(協)	183,820	250,390	434,210	70	2	98
両毛輸出スカーフ組合	18,700		18,700	144	0	100
桐生テキスタイル商業グループ	300,000		300,000	100	100	0
計	4,294,075	855,903	5,149,978	91	17	83

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所 属 団 体	販 売 高	昨 年 較 比	桐生市内	県 内	県 外
桐生織物産地元売(協)	180,000	90	0	0	100
桐生織物商業組合	175,200	87	15	0	85
桐生糸商組合	990,000	102	64	6	30
桐生金銀糸(協)	120,000	89	90	5	5
桐生織物買継商友会	168,300	90	0	0	100
計	1,633,500	96	47	4	49

4. 内需向,輸出向区分

単位 万円

所 属 団 体	内 需 向		輸 出 向		計
	金 額	割合	金 額	割合	
桐生織物(協)広幅協議会	754,940	82	161,580	18	916,520
桐生織物商業組合	104,200	59	71,000	41	175,200
両毛輸出織物整染(仁)	266,522	81	61,566	19	328,088
桐生染色(協)	140,265	82	30,789	18	171,054
桐生織維製品(協)	1,794,050	100	0	0	1,794,050
桐生刺繍商工業(協)	434,210	100	0	0	434,210
桐生金銀糸(協)	120,000	100	0	0	120,000
両毛輸出スカーフ組合	374	2	18,326	98	18,700
桐生織物整経(協)	13,069	86	2,127	14	15,196
桐生意匠(協)	23,981	96	1,016	4	24,997
桐生紋紙(協)	22,929	95	1,207	5	24,136
計	3,674,540	91	347,611	9	4,022,151

5. 各団体の取扱品目

団体名	品目				
	割合	割合	割合	割合	割合
桐生織物協 (広幅協議会)	合織織物	人絹織物	絹織物	アセテート織物	その他
	38	36	8	16	2
桐生織物協 (内地協議会)	帯地	服地	服飾工芸	着尺	
	71	12	11	6	
桐生織物商業組合	服地	二次製品	その他		
	74	16	10		
桐生織物産地元売協	帯地	着尺	二次製品	服飾工芸	その他
	70	15	5	5	5
両毛輸出織物整染(有)	合織	ニット	人絹	絹	
	36	47	15	2	
桐生染色協	合織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ ウール等	絹	
	49	30	10	11	
桐生繊維製品協	ブラウス	ニットシャツ	スーツ	ジャケット	その他
	69	13	5	3	10
桐生糸商組合	化合織	レーヨン	綿・スフ	絹	
	55	28	11	6	
東日本編レース(有)	カーテン レース	衣料レース	資材		
	71	18	11		
桐生撚糸(有)	合織撚糸	人絹撚糸	絹撚糸	金銀糸	
	63	35	1	1	

団体名	品目				
	割合	割合	割合	割合	割合
両毛輸出スカーフ組合	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協	整経				
	100				
桐生意匠協	インテリア	洋反	金蘭	帯	その他
	27	26	25	13	9
桐生紋紙協	紋紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
	100				
東毛ジャカード刺繍協	ワッペン	Tシャツ	ワンポイント 刺繍	トレーナー	その他
	54	26	7	5	8
桐生刺繍商工業協	婚礼関係	ブラウス 加工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑貨
	34	23	16	12	15
桐生金銀糸協	金銀糸				
	100				
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着尺	広巾・服地 その他	
	85	9	2	4	
桐生テキスタイル 商業グループ	婦人服地				
	100				

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量	
桐生織物協 (内地協議会)	広巾織機	126	桐生織物 整経協	整経機	52	
	並巾 "	1,138		ワインダー	3,128	
	小巾 "	215		計	3,180	
	レピア "	220	桐生意匠協	拡大機	14	
	計	1,699		コピー機	16	
桐生織物協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66	桐生意匠協	デザインシステム	28	
	" レピア	722		計	58	
	自動及び普通織機	1,402	桐生紋紙協	ピアノマシン	58	
	計	2,190		裁断機	25	
両毛輸出織物 整染(二)	精錬漂白機	86		桐生紋紙協	編成機	38
	乾燥機	120			ワンプンチ	27
	染色機	147			その他	69
	仕上機	70	計		217	
	計	423	桐生刺繡 商工業協		横振りマシン	547
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	126		桐生刺繡 商工業協	ジャカードマシン	1,150
	" (高圧 ")	42			計	1,697
	" (汎 ")	43				
	チーズ及びチーク	69				
	計	280				
桐生繊維 製品協	縫製マシン	1,488				
	プレス	75				
	裁断機	80				
	計	1,643				
東日本編レース(四)	ラッセル機	128				
東毛ジャカード 刺繡協	ジャカードマシン	60				
桐生撚糸(二)	イタリー式撚糸機	69				
	合撚式 "	37				
	アップワインダー	6				
	長谷式	6				
	計	118				

7. 最近の推移 (8年10月~9年2月)

所属団体		受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比	上昇	変らず	下降	前年対比
桐生織物協	広幅協議会			○	80		○		100
	内地協議会			○	90		○		100
桐生織物商業組合				○	87		○		100
桐生織物産地元売協				○	90			○	90
両毛輸出織物整染(公)				○	91			○	85
桐生染色協				○	97			○	99
桐生繊維製品協				○	95		○		100
桐生糸商組合				○	97		○		100
東日本編レース(公)				○	95			○	95
桐生撚糸(公)				○	90			○	90
両毛輸出スカーフ組合		○			105	○			140
桐生織物整経協				○	80			○	90
桐生意匠協			○		100		○		100
桐生紋紙協				○	96		○		100
東毛ジャカード刺繍協				○	85			○	95
桐生刺繍商工業協				○	70			○	65
桐生金銀糸協				○	89		○		100
桐生織物買継商友会				○	90		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	90			○	90
計		1	1	17	-	1	9	9	-

1. 桐生織物協同組合

★ 状況、事業概要

7年度末時点で上昇に転じかけたが、結局は下降に転じてしまった。輸入品や、国内他産地との競合で内需服地が全くふるわず、輸出ではジリジリ進行した円安が逆効果になって買控え姿勢が強く、苦戦した。和装ではカジュアル化が一層進み、主力のフォーマル製品が低迷し、又影響の悪さから嗜好品的な感じの強い商品として買控え等で低迷した。

★ 今後の課題

9年度全体的に大きく伸びることは考えにくい、穏やかな伸びが出ることを予想している。又、産地としての課題として、服地・輸出関係部門においては、製品のW巾化、コスト分析、小ロット対応が課題である。

和についてもカジュアル製品の開発、佐賀錦一辺倒の袋帯から脱却等必要である。

2. 桐生織物商業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

産地の住み分けが混沌としている為か、大口受注とゆうような話題は乏しくなっている。消費者はギリギリ迄、購買行動をおこさず、より安い物、より自分らしさを追求している。

★ 状況、事業概要

極東・東南アジア各国の旺盛な輸出マインドは衰えず、多少の円安傾向も効果をもたらすには至らなかった。

年々、ウェイトを増しつつある内需向けも商況は低迷しており、輸出・内需とも厳しい状況にある。

★ 今後の課題

○産地の住み分けが混沌とした状況下で、どのように“桐生らしさ”を出せるか。

○省力化と小ロット化の要求をどのように調整するか。

○若手、労働力の確保。

等、産地としての存在をどのように示していけるか問題は山積している。

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

従来の流通経路が変化しつつあり、生産者→産元→集産地問屋→小売店→消費者の流れが、くづれつつある現在では、どの様になっていくのか先が見えず、困迷している。

★ 状況、事業概要

前記の通り、相変わらず業界が安定せず、荷動きも低迷したままの一年に終る。廃業倒産等も今後増えてくるように思える。

★ 今後の課題

日本の伝統衣装である着物が、消えてしまう事は無いにしても、日常生活の中では、必要性が薄くなっていくと思います。趣味的なもの、文化的なものとして残る程度の需要しか考えられません。

伝統の技術に合わせて消費者のニーズに答えられる商品が生き残れる道だと思います。

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

1. 市場ニーズに対する即応対制の確立
各段階の在庫の縮小、返品、値下げ、欠品などの流通ロスの削減
2. 魅力ある差別化製品の生産
3. 多品種、少量生産、短納期対応

★ 状況、事業概要

為替相場の大幅な変動とともに、これまで過去に例を見ない金利の引き下げ、輸入製品の急増によるセーフガード措置の発動要請に対し見送り、繊維政策の拡充整備、製造物責任法の実施等、このような状況下で加工実績は輸出、内需ともに大巾に減少し、加工金額についても、加工数量の減少と共に加工単価の大巾な下落もあり、企業収益は一段と悪化してきています。

★ 今後の課題

製品輸入の急増と国内消費の低迷等により、生産は年々減少しており、需給バランスは一段と深刻化している。基本的には企業体質の強化を図り、企業努力の効果が上がるよう取引面での適正加工料金及び物流費などの確保等の取引改善とQRの推進に努め、品質管理と安全性の確保、また労働基準法などの改正があり、労働管理面で新しい対応が求められており、適切な対処が必要となっています。

5. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

繊維製品全般が糸染品から布染品に需要が変わってきている、また、糸染品主力の和装品も増加は望めず、加工受注量は減少している。

★ 状況、事業概要

国内景気は前年と同様低迷している中で、小ロットものが増加している。輸出品は円安基調であるが大巾減、新製品開発に努力しているが減少分をカバーできず受注量は全体で減少している。

★ 今後の課題

新年度から、各種公共料金、並びに消費税率の改正が計画されている。さらに円安による燃料費等の引き上げも懸念されさらなる合理化が急務である。

また、高付加価値製品の開発、多品種小ロット物への対応も重要課題として取り組む努力が必要となっている

6. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

カタログ販売の商品単価が低くなって、それが消費者の頭の中に定着して来たようだが、実際にデパートの売場では当たり前と思える価格がついていてそれを買って行くのを見るとほっとするが、まだまだ低調だが……。

良い品物についての価格が落ちない事を期待する。

★ 状況、事業概要

平成7年が低調だったが、1月から5月位の夏物迄は比較的良く、6月以降が前年を少し下まわったので、年間を通しては前年対比変らないだろう。落ちて、落ちて、どうやら辛抱できたので、今後は少しずつでも、プラスの方向にむかうのでは。しかしこれも各企業の努力次第と思う。

★ 今後の課題

悪い、悪いと言いながらも、今日を迎えたので、何時の時も同じであるが、更なる努力をする事以外には道は開けないと思う。しかし、当業界の活性化は従来通りの下請オンリーではなく、産地としてのクリエイティブファクターとして行く体質にしないと、次の世代へのファッションタウンとして継承が危ぶまれるのではないだろうか。

7. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

マフラー衣料は在庫圧迫と前売不振のため引続き生産減となった。
カーテンは、ドビーの受注が多く織機が不足にて推移した。

★ 状況、事業概要

1月～10月は糸値が低迷していたが11月より需給が締り円安も重なりポリエステル糸、綿糸が底値より上向きになって来た。

★ 今後の課題

昨年大底を確認して今年から底離れすると思われるが、現在の底離れ局面も縮小均衡の上に円安の追い風で成り立っている。こうした中、合織メーカーや生産チームとの連携を強めて自社リスクによるオリジナル原糸の開発販売に力を注ぐべき。

8. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

カーテンレース業界は、上期横這い推移から、堅調な推移から、低迷へと、厳しい環境に入り、下期は厳しさが続き、10月以降～2月現況も継続されている。
(衣料レース広巾、ショール、マフラー等全般)

★ 状況、事業概要

上、下期とも低調な推移でシーズンに合せた受注、生産体制でバラツキがあるが、下降推移傾向にあり、厳しい環境に入っていると思われる。他細巾レースは全般に厳しい市況といわれている

資材関係は、垢すりタオルが中心であるが、他袋物、ネット物等全般に低調な推移であったが、下期後半、垢すりタオルに数量が伸びていく方向にあり、価格は厳しいが見通しが明るくなって来た

★ 今後の課題

これからは、インテリア関係はレースカーテン地が主力であるが、高速で編大量生産ものではなく手間のかかる編技術をいかした高級品指向の製品で1円でも高く売れるものに向って、新柄作りを多くしなければならない。レースカーテンに限らず衣料広巾レース、ショール、マフラー等新柄物を多く作り又素材も工夫し、自工場ブランド(自分の柄)で受注をはかり、安

定生産を考えていかねばならないと思う。

9. 桐生撚糸工業組合

★ 状況、事業概要

絹、金銀糸じり貧
人絹、やや下降
合織、横ばい

10. 両毛輸出スカーフ

★ 状況、事業概要

平成初年度よりの円高等により逐次売値が下落し、平成6年度末にはナイロンクリンプジョウゼットスカーフ27吋×27吋1打無地の値が400円～405円にまで低落し、倒産廃業により組合員も3社～5社になってしまった。

8年初め生産量も激減し、当社の生産量が50%を超える様になったので、当社の無地スカーフの販売調整を行ったところ、これが効果的に効き引合の増加もみる様になりつれて売値も逐次上昇し8年には465円～510円と回復してきた。9年に入り540円～560円～590円で成約出来るまでになった。

素材の製織と「ミシン四方ヘム」が追随しないので生産量はあまり増加しない。従って4ヶ月～6ヶ月先の成約が出来ている。また引合は減少していないので今後持続する様に努力する必要があると思う。

11. 桐生織物整経協同組合

★ 状況、事業概要

年初から4月頃迄は洋反の受註があったがその後ぐっと少なくなり年間で前年の60%位でした。

又、帯は、総じて少なく、又非常に小ロット化して売上げの伸びは見られない。

マフラー（アクリル・ウール）どちらも前年より少なく秋10月中頃から程んど無い状態です。カーテン等（インテリア）は前年の85%位はあるが小口化と、多品種・納期の短いことで苦戦をしいられた。

★ 今後の課題

整経業界も高齢化と後継者不足はあらそえずにいます。

この問題は、桐生の織物業者が新製品を開発して、しかも儲かる仕事を作り他産地にも出来ない桐生独特の産地のジャカード等を活用して、下請けにも（染屋、整経、紋切、撚糸等）その利を分ちあえる様にして若い人が振り向く様な給料が私共の業界にも揃えれば必ず桐生全体の発展は出来るでしょう。

12. 桐生意匠協同組合

★ 状況、事業概要

事業所数（組合員）の減少もあったが昨年並の実績を上げる事は出来た。が各企業間の格差はますます広がっている。

デザインシステムの高度化にともないそのための設備投資が目立っている。

★ 今後の課題

より高度なデザインが要求されるため、意匠技術をますます学んで行かなければならないと思う。組合員間の情報交換と技術研修、親睦の和を計る事、後継者の育成も課題の一つ。

又、他組合との合併、共同化にも目をむけたい。

13. 桐生市刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

後進国のブラウス、セーター等の刺繍製品の輸入増加に伴い、受注、販売ともに昨年続き減少、最近の状態でも相変わらず続いております。急速に進む流通構造の変革、価格破壊により、外国諸国の製品の売れゆきが優先し国内製品の価格が高すぎて追いついてゆけない状態です。

★ 状況、事業概要

長引く繊維業界の不況にて減少やまず、今だ続いております。

商品の1点単価も安くなっておりますのでさらに減少傾向です。

消費者の低価格指向が進んでおります。

★ 今後の課題

① 零細企業が多いため情報交換、親睦場としているが不況が続く為、組合加入者の脱会をくい止めることが現状です。

② 技術者の養成等、技術研修をおこなう。

昨年に続き群馬県繊維工業試験場において群馬県中小企業技術者研修（高級刺繍技術課程）を県の協力をえて講師は当組合員の大沢紀代美（黄綬褒章受賞県アドバイザー、卓越技能士）により開催予定。

③ 展示会や宣伝活動（例えば紙上活用）等積極的に展開する。

④ 青年部（後継者）の養成、指導。

14. 桐生織物買継商友会

★ 商品、消費者ニーズの変化について

高級品と称せられる商品は、ひとり満足感を味える他にないもの。一般的なボリューム商品は頼らわしくなく身に付けられて身近に感じられる型に（仕立上り、二次製品）にしたもの。

★ 状況、事業概要

受給のバランスが自然任せになっている現状から一部不安定価格での取引が全般のムードを悪くさせているも徐々に修正されつつあり。

★ 今後の課題

生産、販売両業者の連携を密にし流通母体の集産地に対して情報を提供して行く。

15. 桐生テキスタイル商業グループ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

○商品は国際的選択の時代に完全になっている。

桐生で出来る商品の品質、感覚、価格がすべて国際価格でなければ通用しない。

○消費者のニーズはそういう意味での選択（チョイス）感覚であり衣料は第二次、第一次優

先は行動、知覚的欲求になって来ている。(レジャー、スポーツ、インターネット、ete)

★ 状況、事業概要

- 情報の共有化、情報のキャッチ商品開発に、北陸、尾州、各産地との競合。
コストの面で割高な桐生産地は、独特な商品開発に決め手を欠き苦戦中です。

★ 今後の課題

- 北陸産地と競合しない桐生の特色ある商品づくり
- 客先との経形に太い、情報から生産までのネットワーク

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 (協)	佐 藤 富 三	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	佐 藤 富 三	〃 錦町3-1-15	45-1201
桐 生 染 色 (協)	塚 本 祐 平	〃 永楽町6-6	22-9661
桐 生 織 維 製 品 (協)	関 口 幸三郎	〃 〃	46-2310
桐 生 織 物 商 業 組 合	正 田 弘 祐	〃 錦町1-3-27	45-3181
桐 生 織 物 産 地 元 売 (協)	山 崎 達 郎	〃 宮前町2-4-38	22-0345
両毛輸出織物整染(ㇿ)	朝 倉 融	〃 永楽町6-6	22-2775
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	〃 仲町3丁目15-6	44-4171
桐 生 刺 繍 商 工 業 (協)	村 田 永 昌	〃 永楽町6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 (協)	今 西 洋 右	〃 巴町2丁目1,832	22-8539
東日本編レース(ㇿ)	小 堀 文 男	〃 永楽町6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 (ㇿ)	田 中 堯	〃 稲荷町4-29	44-9431
両毛輸出スカーフ組合	古 谷 恒	〃 浜松町2丁目8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 (協)	高 久 勇 雄	〃 境野町6-304	46-3861
桐 生 意 匠 (協)	大 川 作 太 郎	〃 広沢町4-1997-5	54-0568
桐 生 紋 紙 (協)	岩 崎 万 雄	〃 永楽町6-6	22-5854
東毛ジャカード刺繍(協)	西 村 千 春	〃 新宿3丁目7-34	43-1166
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	島 崎 英 三	〃 本町1丁目3-18	47-4000
(協)シルク・ルネッサンス桐生	青 木 軍 次	〃 広沢町4丁目2423-1	54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	〃 相生町5丁目13-4	52-4125
桐 生 織 伝 統 工 芸 士 会	新 井 實	〃 永楽町5-1	43-2511

(平成8年1月~12月)